

令和 6 年度

狭山市文化財年報

埼玉県狭山市教育委員会

例 言

- ・ 本書は、令和6年度の狭山市教育委員会生涯学習部社会教育課文化財担当の年報である。
- ・ 本書に掲載した埋蔵文化財確認調査等は、事業者の協力を得て行った。
- ・ 発掘調査等に係る資料等の保管・活用は、狭山市教育委員会が行った。
- ・ 本書の執筆及び編集は、社会教育課文化財担当が行った。

目 次

I	組織・予算等	1
1	組織	1
2	文化財保護審議会	1
(1)	委員名簿	1
(2)	開催状況	1
3	予算・決算の状況	2
(1)	文化財保護事業費	2
(2)	文化財発掘調査事業費	2
(3)	博物館管理事業費	2
(4)	博物館改修事業費	2
II	事業概要	3
1	調査・研究	3
(1)	画像・映像資料の収集・調査・研究	3
(2)	埋蔵文化財の調査	3
(3)	博物館収蔵資料の収集・調査・研究	5
2	管理	9
(1)	指定文化財の維持管理	9
(2)	指定文化財の滅失等	9
(3)	災害時の文化財管理	9
(4)	文化財関係資料の整理・管理	9
(5)	博物館収蔵資料の整理・管理	9
3	補助	9
(1)	指定文化財管理事業補助（指定文化財管理事業費補助金交付要綱）	9
(2)	民俗芸能振興事業補助（民俗芸能振興事業費補助金交付要綱）	10
4	普及・啓発	10
(1)	講座・展示	10
(2)	刊行物等	10
(3)	ホームページ等における公開	10
(4)	動画配信	11
5	市民参加の各種事業	11
	博物館ボランティア「さやまナビーズ」	11
III	資料	12
IV	資料紹介	20

I 組織・予算等

1 組織

教育委員会	教育長	滝嶋 正司	
生涯学習部	部長	五十嵐 和也	
	次長	關根 浩由	
社会教育課	課長	石井 巳代子	
文化財・博物館担当	主査	三ツ木 康介	上田 知佐子
	主事補	中津 杏美	
文化財整理作業員	岸 幸子	江川 久美子	住谷 三千代
	山田 久美子	神山 陽子	臼倉 紀夫
	石田 清美	内出 智美	

2 文化財保護審議会

(1) 委員名簿

役職	区分	氏名	略歴等	備考
	学識経験者	岩本 克昌	元埼玉県立博物館学芸員	
	学識経験者	高橋 恵美子	武蔵野学院大学教授	
◎	学識経験者	高橋 光昭	元狭山市立博物館長	
	学識経験者	中平 薫	元日高市職員	
	学識経験者	名雲 康仁	元狭山市職員	
	学識経験者	橋本 太郎	元狭山市立博物館協議会委員	
○	学識経験者	林 宏一	元埼玉県立博物館長	
	学識経験者	宮瀧 交二	大東文化大学教授	
	学識経験者	吉田 弘	元狭山市職員	

※任期2年（令和5年4月1日～令和7年3月31日）

※◎：委員長、○：副委員長

(2) 開催状況

日程	議題等
第1回（5月17日）	（1）令和5年度事業報告について （2）令和6年度事業予定について
第2回（11月18日）	（1）令和6年度事業報告および今後の予定について （2）令和7年度事業予定について
第3回（3月27日）	（1）令和7年度予算について （2）その他

3 予算・決算の状況

(1) 文化財保護事業費

	予算額	流用額	決算額	不要額
報酬	11,319,000	0	10,601,105	717,895
職員手当等	4,204,000	0	3,740,668	463,332
報償費	209,000	0	105,000	104,000
旅費	593,000	▲162,000	420,446	10,554
需用費	901,000	▲187,000	520,693	193,307
役務費	151,000	0	142,531	8,469
委託料	1,167,000	349,000	1,236,140	279,860
使用料及び賃借料	5,000	0	0	5,000
工事請負費	0	0	0	0
負担金補助及び交付金	2,528,000	0	2,433,000	95,000
公課金	9,000	0	8,200	800
計	21,086,000	0	19,207,783	1,878,217

(2) 文化財発掘調査事業費

	予算額	流用額	決算額	不要額
報酬	1,367,000	0	0	1,367,000
旅費	72,000	0	0	72,000
需用費	79,000	0	22,006	56,994
役務費	66,000	0	0	66,000
委託料	3,640,000	0	0	3,640,000
使用料及び賃借料	4,004,000	0	2,283,600	1,720,400
負担金補助及び交付金	39,000	0	0	39,000
計	9,267,000	0	2,305,606	6,691,394

(3) 博物館管理事業費

	予算額	流用額	決算額	不要額
報酬	116,000	0	93,600	22,400
需用費	0	0	0	0
委託料	77,199,000	0	77,199,000	0
計	77,315,000	0	77,292,600	22,400

(4) 博物館改修事業費

	予算額	流用額	決算額	不要額
委託料	3,157,000	0	0	3,157,000
工事請負費	159,538,000	0	153,109,000	6,429,000
計	162,695,000	0	153,109,000	9,586,000

※単位：円

Ⅱ 事業概要

1 調査・研究

(1) 画像・映像資料の収集・調査・研究

No.	文化財名	指定文化財	撮影時期	形態
1	広瀬囃子上演	○	R6. 4. 7	デジタル写真・映像（広瀬神社）
2	入曽囃子・西方囃子上演	○	R6. 7. 20	デジタル写真・映像（野々宮神社）
3	八幡神社夏季例大祭	－	R6. 7. 14	デジタル写真・映像（八幡神社）
4	広瀬浅間神社の火祭り	○	－	中止
5	八幡神社鹿子舞	○	－	中止
6	入曽の獅子舞上演	○	R6. 10. 19, 20	デジタル写真・映像（金剛院・入間野神社）
7	上赤坂獅子舞	○	－	中止
8	梅宮神社甘酒祭・西方囃子	○	R7. 2. 10, 11	デジタル写真・映像（梅宮神社）

(2) 埋蔵文化財の調査

ア 埋蔵文化財包蔵地照会（件数）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
窓口	125	116	148	138	97	127	144	109	110	89	98	99	1,400
電話	28	14	26	17	23	16	22	7	21	15	24	26	239
合計	153	130	174	155	120	143	166	116	131	104	122	125	1,639

イ 確認調査（令和6年度届出分）

No.	遺跡名	所在地	調査日	面積（㎡）	調査結果
1	滝祇園遺跡	入間川 2-2574	R6. 4. 22	449. 58	遺構・遺物なし
2	坂上遺跡	大字下奥富字坂上 431-1	R6. 4. 22	326. 28	遺構・遺物なし
3	石無坂遺跡	入間川 1-4091-6、4091-23	－	128. 29	令和5年度確認調査済（遺構・遺物なし）
4	宮ノ越遺跡	柏原 3651-2	R6. 4. 17	120. 00	遺構・遺物なし
5	下向沢遺跡	入間川①1030-6 ②1126-67 ③1126-32	R6. 9. 16	6. 00	工事立会い（遺構・遺物なし）
6	上広瀬古墳群	広瀬台 1-482-24	－	167. 73	昭和44年度発掘調査済
7	揚榎木遺跡	上奥富 34-3	－	162. 00	昭和56・57年度発掘調査済
8	戸張遺跡	狭山 766-1、766-24、766-26	R6. 5. 30	3. 00	工事立会い（遺構・遺物なし）
9	今宿遺跡	広瀬台 1-27-4	－	148. 76	昭和44年度発掘調査済
10	石無坂遺跡	入間川 1-4091-6 の一部	－	128. 64	令和5年度確認調査済（遺構・遺物なし）
11	御所の内遺跡	柏原 2424-4、2435-14 の一部	R6. 6. 4	381. 23	遺構・遺物なし
12	今宿遺跡	広瀬台 1-4-25	－	173. 89	昭和44年度発掘調査済
13	沢台遺跡	入間川字沢台 1751-7, 8, 9 および字下窪 1729-2	R6. 6. 17	495. 88	遺構・遺物なし
14	戸張遺跡	大字上奥富字戸張 190-5	R6. 8. 20	100. 19	遺構・遺物なし
15	揚榎木遺跡	大字上奥富字戸張 204-1	R6. 7. 2	361. 00	遺構・遺物なし
16	戸張遺跡	狭山 761-1、762-1、大字上奥富 174-5 の一部	R6. 7. 23	9. 00	工事立会い（遺構・遺物なし）
17	宮ノ越遺跡	柏原 3651-3 の一部	R6. 7. 8	500. 00	遺構・遺物なし

18	富士見西遺跡	入間川 1-3333-1	—	6.10	昭和 58 年度発掘調査済
19	鳥ノ上遺跡	柏原字笹久保 418-3、436-1、5、6、7、441-3、455-1	—	40518.39	平成 21 年度発掘調査済
20	城ノ越遺跡	柏原字宮原 2269-1	R6. 8. 28	1157.71	遺構・遺物なし
21	戸張遺跡	上奥富 187-3	R6. 7. 23	200.97	奈良平安時代遺構 2 件 現況保存
22	沢台遺跡	入間川字下窪地内	R6. 8. 21	938.21	遺構・遺物なし
23	中原遺跡	狭山 1829-2	R6. 7. 22	259.00	遺構・遺物なし
24	戸張遺跡	大字上奥富字堂元 172-5	R6. 7. 23	99.62	遺構・遺物なし
25	今宿遺跡	広瀬台 1-521-34、35、179	—	155.41	昭和 44 年度発掘調査済
26	御所の内遺跡	柏原字英 1514-5	—	180.32	令和 4 年度確認調査済(遺構・遺物なし)
27	今宿遺跡	広瀬台 1-53-6	—	2.00	令和 5 年度確認調査済(遺構・遺物なし)
28	沢台遺跡	入間川 1751-9	—	6.00	令和 6 年 6 月に確認調査済(遺構・遺物なし)
29	小山ノ上遺跡	柏原 1276	R7. 4. 4	1.00	工事立会い(遺構・遺物なし)
30	富士見南遺跡	富士見 2-6228-16、6228-17	—	173.45	令和 5 年度確認調査済(遺構・遺物なし)
31	台遺跡	大字青柳字台 44-2	R6. 9. 19	251.65	遺構・遺物なし
32	鳥ノ上遺跡	柏原 5000	—	3.00	平成 30 年から令和 2 年度発掘調査済
33	上広瀬古墳群	広瀬台 1-459	R6. 10. 29	3.00	工事立会い(遺構・遺物なし)
34	戸張遺跡	大字上奥富 174-4	R6. 12. 2	2.00	工事立会い(遺構・遺物なし)
35	丸山遺跡	柏原字半貫 1870-4	R6. 9. 11	1182.00	遺構・遺物なし
36	石無坂遺跡	入間川 1-4092-16	R6. 9. 17	110.00	遺構・遺物なし
37	石無坂遺跡	入間川 1-4092-16	—	2.00	令和 6 年 10 月に確認調査済(遺構・遺物なし)
38	丸山遺跡	柏原字丸山 2064-7	R6. 9. 25	828.00	遺構・遺物なし
39	台遺跡	大字青柳 90-3、48-5	R7. 1. 8	6.00	工事立会い(遺構・遺物なし)
40	宮ノ越遺跡	柏原字宮ノ越 3618-27	—	248.38	昭和 53・54 年度発掘調査済
41	石無坂遺跡	入間川 1-4070-1、8、9、10、11	R6. 10. 31	499.00	遺構・遺物なし
42	宮ノ越遺跡	柏原字宮ノ越 3630-69	—	255.78	昭和 53・54 年度発掘調査済
43	森ノ上・富士塚遺跡	柏原字森ノ上 237-4 他	R6. 11. 11	4615.00	遺構・遺物なし
44	今宿遺跡	広瀬台 1-482-74	—	164.95	昭和 44 年度発掘調査済
45	上広瀬ノ原遺跡	上広瀬 1388-5、1388-6	R7. 3. 28	4.00	工事立会い(遺構・遺物なし)
46	中原遺跡	狭山 1892-3、1892-1	R7. 1. 17	205.01	遺構・遺物なし
47	台遺跡	青柳 44-2	—	0.25	令和 6 年 9 月に確認調査済(遺構・遺物なし)
48	石無坂遺跡	入間川 1-4060-2	—	2.00	平成 24 年度に確認調査済(遺構・遺物なし)

49	御所の内遺跡	柏原 2461、2462-3	R7. 1. 16	2. 00	工事立会い（遺構・遺物なし）
50	稲荷山公園遺跡	稲荷山 1-23-1 の一部	R7. 2. 22	34. 00	工事立会い（遺構・遺物なし）
51	金井林遺跡	柏原字上の原 659-5	R7. 1. 15	404. 00	遺構・遺物なし
52	今宿遺跡	広瀬台 1-16-20	—	169. 00	昭和 44 年度発掘調査済
53	宮ノ越遺跡	柏原字宮ノ越 3636-10	R7. 2. 4	771. 00	遺構・遺物なし
54	戸張遺跡	狭山 21-11	R7. 1. 23	300. 98	遺構・遺物なし
55	今宿遺跡	広瀬台 1-521-117、-116、-171	—	137. 36	昭和 44 年度発掘調査済
56	揚櫃木遺跡	大字下奥富字坂上 436-8	R7. 2. 20	142. 51	遺構・遺物なし
57	御所の内遺跡	柏原字英 1503-4	R7. 2. 26	300. 12	遺構・遺物なし
58	宮ノ越遺跡	柏原字宮柱 3657-41	R7. 3. 6	300. 00	遺構・遺物なし
59	上広瀬上ノ原遺跡	大字上広瀬字上ノ原 1388-1	R7. 3. 10	330. 62	遺構・遺物なし
60	上広瀬上ノ原遺跡	大字上広瀬字上ノ原 1388-4	R7. 3. 10	330. 60	奈良平安時代遺構 2 件 発掘調査（R7 年度予定）
61	上広瀬上ノ原遺跡	大字上広瀬字上ノ原 1326-6	R7. 3. 14	150. 01	遺構・遺物なし
62	御所の内遺跡	大字御所ノ内 2424-4、2435-16	—	381. 23	令和 6 年 8 月に確認調査済（遺構・遺物なし）

※令和 6 年度実施の発掘調査費用の実態調査及び発掘届等の統計調査に準拠。

※対象総面積 59,495.1 m²（確認調査及び工事立会い等を行った面積）。

ウ 発掘調査

今年度は実施なし。

エ 出土品等整理作業

文化財センターで、出土品の接合・実測等の整理作業を実施した。

No.	調査名	洗浄	注記	接合	拓本	実測	トレース	図面整理	原稿執筆
1	宮地 7 次	—	—	○	—	—	—	—	—
2	戸張 3 次	—	—	—	—	—	—	—	○
3	滝祇園 4 次	—	—	—	—	○	—	—	—
4	宮ノ越 9 次	—	—	○	—	○	—	—	—
5	今宿 3 次	—	—	○	○	○	○	—	—
6	今宿 8 次	—	—	○	○	○	○	—	—
7	今宿 9 次	—	—	○	○	○	○	—	—
8	今宿 18 次	—	—	○	○	○	○	—	—
9	今宿 32 次	—	—	—	—	○	—	—	—
10	今宿 33 次	—	—	—	—	○	—	—	—

（3）博物館収蔵資料の収集・調査・研究

受入No.	資料名	受入日	備考
240001	「霊峰不二」 横山大観	—	資料再整理
240002	「佛印風景」 藤田嗣治	—	資料再整理
240003	「馬来風景」 藤田嗣治	—	資料再整理
240004	「カダケスの山手風景（東スペイン）」	—	資料再整理
240005	「智光山菖蒲図」 鈴木至夫	—	資料再整理

240006-1	写真（水の増水と木橋）	-	資料再整理
240006-2	写真（川の増水）	-	資料再整理
240007	写真（昭代橋）	-	資料再整理
240008	写真（おみこし）	-	資料再整理
240009	写真 3 枚（いるまがわ駅遠景）	-	資料再整理
240010	写真（横綱「鬼面山」土俵入り）	-	資料再整理
240011	四角皿 1 枚	R6. 4. 1	個人（受贈）
240012	盃 3 個	R6. 4. 1	個人（受贈）
240013-1	おちょこ（梅の花模様）5 個	R6. 4. 1	個人（受贈）
240013-2	おちょこ（松と稚児と蝶々）2 個	R6. 4. 1	個人（受贈）
240013-3	おちょこ 1 個	R6. 4. 1	個人（受贈）
240013-4	おちょこ（九谷焼）8 個	R6. 4. 1	個人（受贈）
240013-5	おちょこ（九谷焼）5 個	R6. 4. 1	個人（受贈）
240014	灰皿（透明硝子）1 個	R6. 4. 1	個人（受贈）
240015-1-1	徳利（九谷焼）（昭 43. 10. 水越神社造営記念）1 本	R6. 4. 1	個人（受贈）
240015-1-2	徳利（九谷焼）1 本	R6. 4. 1	個人（受贈）
240015-1-3	徳利（九谷焼）2 本	R6. 4. 1	個人（受贈）
240015-2	徳利（竹の絵）4 本	R6. 4. 1	個人（受贈）
240015-3	徳利（鈴木酒造店）1 本	R6. 4. 1	個人（受贈）
240016-1	どんぶり 1 個	-	資料再整理
240016-2-1	どんぶり（野菊）小 2 個	-	資料再整理
240016-2-2	どんぶり（野菊）10 個	-	資料再整理
240016-3	どんぶり（岡野米店）3 個	-	資料再整理
240016-4	どんぶり（Maebata）5 個	-	資料再整理
240017-1-1	湯飲み茶碗（カブ・大根・茄子）3 個	-	資料再整理
240017-1-2	湯飲み茶碗（大根 2 本・茄子）1 個	-	資料再整理
240017-2	絵皿（花柄と風景）2 枚	-	資料再整理
240017-3	絵皿（屏風図六曲一隻）1 枚	-	資料再整理
240018-1-1	切手アルバム（壁画柄）	-	資料再整理
240018-1-2	切手アルバム（こげ茶色）	-	資料再整理
240018-1-3	切手アルバム（こげ茶色）	-	資料再整理
240018-1-4	切手アルバム（こげ茶色）	-	資料再整理
240018-1-5	切手アルバム（こげ茶色）	-	資料再整理
240018-1-6	切手アルバム（深緑色）	-	資料再整理
240018-2-1	切手シート（赤色）	-	資料再整理

240018-2-2	切手シート（緑色）	-	資料再整理
240018-2-3	切手シート（青色）	-	資料再整理
240018-2-4	切手シート（青色）	-	資料再整理
240018-2-5	切手シート（青色）	-	資料再整理
240018-2-6	切手シート（青色）	-	資料再整理
240018-3-1	切手シート（黄土色）	-	資料再整理
240018-3-2	切手シート（黄土色）	-	資料再整理
240018-3-3	切手シートホルダー（淡緑色）	-	資料再整理
240018-3-4	切手シートホルダー（淡緑色）	-	資料再整理
240018-3-5	切手シートホルダー（灰緑色）	-	資料再整理
240018-3-6	切手シートホルダー（灰緑色）	-	資料再整理
240018-3-7	切手シートホルダー（青緑色）	-	資料再整理
240018-3-8	切手シートホルダー（灰色）	-	資料再整理
240018-3-9	切手シートホルダー（灰色）	-	資料再整理
240018-3-10	切手シートホルダー（深緑色）	-	資料再整理
240018-3-11	切手シートホルダー（紺色）	-	資料再整理
240018-4	畳紙『皇太子殿下御成婚記念』10冊	-	資料再整理
240018-5	普通切手19種2組	-	資料再整理
240018-6	切手帳『心のふるさと こぶちざわ高原』	-	資料再整理
240018-7	切手帳『清里観光記念』	-	資料再整理
240018-8	畳紙『普通切手の中の動物』	-	資料再整理
240018-9	畳紙『普通切手の中の植物』	-	資料再整理
240018-10	スタンプシート『湯いづる国 伊豆』と切手貼付の封筒（2組）	-	資料再整理
240018-11-1	切手アルバム（蛇革柄）	-	資料再整理
240018-11-2	切手アルバム（大理石模様）	-	資料再整理
240018-11-3	切手アルバム（紅葉柄）	-	資料再整理
240018-12	書籍『日本切手カタログ 2002』	-	資料再整理
240019-1	羽子板	-	資料再整理
240019-2	羽子板	-	資料再整理
240020	胡蝶	-	資料再整理
240021-1	閻魔大王の王冠	R6. 11. 26	個人（受贈）
240021-2	冠（金色）	R6. 11. 26	個人（受贈）
240021-3	お面（タヌキ）	R6. 11. 26	個人（受贈）
240021-4	お面（キツネ）三枚	R6. 11. 26	個人（受贈）
240021-5	お面（カマドの神様）	R6. 11. 26	個人（受贈）

240021-6	お面（草天狗）	R6. 11. 26	個人（受贈）
240021-7	切り絵『ぼんぼん時計』	R6. 11. 26	個人（受贈）
240021-8	原稿『てんぐからもらったのこぎり』	R6. 11. 26	個人（受贈）
240021-9	原稿『諏訪の殿さま』	R6. 11. 26	個人（受贈）
240021-10	水上 紅の原稿	R6. 11. 26	個人（受贈）
240021-11	ペーパーレリーフの写真	R6. 11. 26	個人（受贈）
240021-12	絵はがき	R6. 11. 26	個人（受贈）
240021-13	新聞の切抜き	R6. 11. 26	個人（受贈）
240021-14	作品展の開催会場一覧のコピー	R6. 11. 26	個人（受贈）
240021-15	写真（大）	R6. 11. 26	個人（受贈）
240021-16	写真（中）	R6. 11. 26	個人（受贈）
240021-17	写真（小）	R6. 11. 26	個人（受贈）
240021-18	写真（台紙付き）	R6. 11. 26	個人（受贈）
240021-19	リーフレット『手前ミソのひとこと』	R6. 11. 26	個人（受贈）
240021-20	パンフレット『身近な美の再発見』	R6. 11. 26	個人（受贈）
240021-21	パンフレット『狭山市民芸術祭』	R6. 11. 26	個人（受贈）
240021-22	パンフレット『第 10 回 狭山市民芸術祭』	R6. 11. 26	個人（受贈）
240022	写真『武州水富村広瀬浅間山の実景』	-	資料再整理
240023	扇風機（三菱電機）	R6. 4. 1	個人（受贈）
240024	扇風機（シャープ）	-	資料再整理
240025	破魔弓	-	資料再整理
240026	破魔弓	-	資料再整理
240027	破魔弓	-	資料再整理
240028-1-1	「徴兵検査日割通達書」	R6. 10. 24	個人（受贈）
240028-1-2	封筒（大正七年三月分 水越豊吉分 徴兵検査書物一切入置）	R6. 10. 24	個人（受贈）
240028-2	「本年徴兵検査ニ合格セシ壮丁ハ左ノ各項ニ注意スベシ」	R6. 10. 24	個人（受贈）
240028-3-1	大正七年度壮丁豫習教育参集令状	R6. 10. 24	個人（受贈）
240028-3-2	封筒（補充兵 水越豊吉殿 入マ川町分会）	R6. 10. 24	個人（受贈）
240028-4	第一乙種歩兵第拾八番 入間川町 水越豊吉	R6. 10. 24	個人（受贈）
240029-1	椀 25 個	-	資料再整理
240029-2	椀（高台付）24 個	-	資料再整理
240029-3	椀の蓋（小）26 個	-	資料再整理
240029-4	椀の蓋（大）26 個	-	資料再整理
240029-5	しゃもじ 1 本	-	資料再整理

2 管理

(1) 指定文化財の維持管理

No.	業務・事業名	形態	実施等団体名
1	史跡七曲井内除草管理業務（2回）	委託	(株) 狭山緑化土木
2	史跡城山砦跡内除草管理業務（1回）	委託	(株) 狭山緑化土木
3	史跡城山砦跡内樹木剪定業務（1回）	委託	利建材
4	史跡富士塚内除草管理業務（1回）	委託	(株) 富士造園
5	史跡影隠地蔵周辺除草管理業務（清掃 12 回、除草 2 回）	委託	水富地区根山自治会
6	史跡下水野の地蔵尊周辺除草管理業務（清掃、除草 12 回）	委託	下水野自治会
7	史跡今宿遺跡内除草管理業務（清掃、除草 3 回）	自主	社会教育課

(2) 指定文化財の滅失等

智光山公園こども動物園で飼育・展示している国の天然記念物「越ヶ谷のシラコバト」について、計 5 羽の滅失が生じた。

(3) 災害時の文化財管理

災害等による大きな被害はなし。

(4) 文化財関係資料の整理・管理

No.	整理対象	作業概要	数量
1	寄贈報告書	受付処理、一覧表整備	228 点
2	遠藤三郎日誌（画像化）	画像撮影	539 頁
3	VHS のデータ化	ダビング、CD 化	19 件

(5) 博物館収蔵資料の整理・管理

第 1 分類 (博物館法準拠)	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
民俗	370	399	861	45	415	213	23	32	29	15	11	4	2,417
産業	1	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5
歴史	194	218	379	23	245	15	0	9	32	11	3	1	1,130
自然科学	41	66	3	2	8	0	0	0	3	0	1	0	124
芸術	18	16	3	1	3	4	0	2	0	0	0	0	47
その他	3	4	6	0	15	4	1	28	63	0	0	0	124
合計	627	706	1,252	71	687	236	24	71	127	26	15	5	3,847

3 補助

(1) 指定文化財管理事業補助（指定文化財管理事業費補助金交付要綱）

No.	実施等団体名	事業内容
1	堀兼神社隨身門および二神像	二神像修復（R5 年度繰越事業）
2	堀兼神社隨身門および二神像	隨身門にかかる樹木伐採
3	柏原祇園囃子芸能会	柏原祇園囃子衣装新調
4	廣瀬神社	廣瀬神社の大ケヤキ樹勢回復

(2) 民俗芸能振興事業補助（民俗芸能振興事業費補助金交付要綱）

No.	実施等団体名	事業内容
1	狭山市民俗芸能祭囃子連合会	狭山市民俗芸能祭囃子連合会後継者育成
2	入曽の獅子舞保存会	入曽の獅子舞後継者育成
3	梅宮神社甘酒祭保存会	梅宮神社甘酒祭後継者育成

4 普及・啓発

(1) 講座・展示

No.	開催日	事業名	場所	主な内容	人数等	満足度
1	R6. 8. 9	出前講座	入曽地域交流センター	狭山市の遺跡・遺物	8 人	100%
2	R6. 9. 10	出前講座	広瀬公民館(今宿遺跡)	今宿遺跡解説、火起こし体験	76 人	-
3	R6. 10. 7	出前講座	入曽地域交流センター	狭山市の遺跡・遺物	25 人	-
4	R6. 11. 2 ～12. 22	企画展	狭山市立博物館	市制 70 周年記念事業「写真で みる狭山市の 70 年」	3, 079 人	85%
5	R6. 12. 13	講師派遣	日高市総合福祉センター	高麗郡及び周辺地域の古代遺 跡調査発表会	97 人	-
6	R6. 12. 22	文化財講演会	狭山市立博物館	市制 70 周年記念事業 関連講演会	21 人	74%
7	R7. 1. 26	文化財防火デー 啓発事業	-	文化財の防火・防災に関する ポスター・チラシの作成、配布	-	-
8	R7. 1. 30	出前講座	富士見公民館(今宿遺跡)	今宿遺跡解説、火起こし体験	6 人	100%
9	R7. 1. 7 ～1. 30	文化財展	入曽地域交流センター 1 階交流スペース	市制 70 周年記念事業展示の サテライト展	-	-
10	R7. 2. 20	出前講座	柏原小学校	狭山市の歴史、昔の道具	70 人	-
11	R7. 2. 20 ～2. 28	文化財展	市役所 1 階 エントランスホール	市制 70 周年記念事業展示の サテライト展	-	-
12	R7. 3. 30	講師派遣	鳥之上公園	高麗のふるさと歴史ウォーク	45 人	-

(2) 刊行物等

No.	報告書名	発行日	発行部数
1	戸張遺跡 第 3 次調査 -分譲住宅建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書-	R7. 3. 28	100 部

※一般の普及・啓発には、PDF 等電子媒体にて Web 上で公開する予定。

(3) ホームページ等における公開

No.	タイトル	備考等
1	令和 5 年度 文化財年報	公式ホームページ掲載
2	狭山市植物図鑑展 -標本からアートまで- (博物館企画展パンフレット)	公式ホームページ掲載
3	さかなクンのギョ 苦楽展～さかなクンの世界とギョギョ 魚水族館～ (博物館企画展パンフレット)	公式ホームページ掲載
4	生誕 120 年 児童文学作家 土家由岐雄展～語り継ぐ平和の物語～ (博物館企画展 パンフレット)	公式ホームページ掲載
5	写真でみる狭山市の 70 年 (企画展パンフレット)	公式ホームページ掲載
6	収蔵品展 狭山市の人形 (博物館企画展パンフレット)	公式ホームページ掲載

(4) 動画配信

No.	タイトル	備考等
1	企画展紹介動画「狭山市植物図鑑展 ー標本からアートまでー」	博物館公式ホームページ掲載
2	企画展紹介動画 「さかなクンのギョ 苦楽展～さかなクンの世界とギョギョ 魚水族館～」	博物館公式ホームページ掲載
3	企画展紹介動画 「生誕 120 年 児童文学作家 土家由岐雄展～語り継ぐ平和の物語～」	博物館公式ホームページ掲載
4	企画展紹介動画「収蔵品展 狭山市の人形」	博物館公式ホームページ掲載

5 市民参加の各種事業

博物館ボランティア「さやまナビーズ」

No.	事業名	活動内容	活動人数	活動延べ回数
1	第 12 回 春季さやはくフォーラム	講師	2	2
2	第 13 回 冬季さやはくフォーラム	講師	2	2
3	第 11 回 常設展ガイドツアー	展示解説	7	28
4	第 12 回 常設展ガイドツアー	展示解説	6	28
5	夏期企画展	展示品製作、設営・撤去作業等	10	289
6	秋期企画展	展示設営・撤去作業等	10	243
7	市制 70 周年記念事業展示	展示品製作、設営・撤去作業等	10	243
8	冬期企画展	展示品製作、設営・撤去作業等	11	172
9	翌年度春期企画展	展示品製作、設営作業等	11	172
10	収蔵品整理	整理作業補助等	9	203
11	工作教室・夏のまいまい体験講座	工作補助、材料加工	10	11
12	その他	自主事業補助・備品等修繕修理	11	60

Ⅲ 資料

1 狭山市の指定文化財

(1) 県指定文化財

ア 工芸品

No.	指定 年月日	名称	所在地	所有者 (管理者)	概要
1	S29. 10. 23	さはりの壺	入間川 3-6-14	八幡神社	「さはり」とは、銅を主として錫・鉛（または銀）を加えた、黄白色の合金のことである。壺の高さ 18.7cm、直径 10cm、口径 7cm。

イ 古文書

No.	指定 年月日	名称	所在地	所有者 (管理者)	概要
2	S34. 3. 20	篠井家文書	笹井	個人蔵	篠井家は江戸時代まで笹井観音堂とよばれた本山派修験・聖護院末 28 院の 1 寺院で、その修験関係文書 16 通が指定を受けている。

ウ 無形民俗文化財

No.	指定 年月日	名称	所在地	所有者 (管理者)	概要
3	S54. 3. 27	入曽の獅子舞	南 入 曽 460 金剛院 南 入 曽 641 入間野神社	入 曽 の 獅 子 舞 保 存 会	毎年 10 月に、金剛院と入間野神社に奉納される。1 日目は金剛院で揃獅子を、2 日目は金剛院で前狂い・入間野神社で全曲が奉納される。
4	H4. 3. 11	梅宮神社の甘酒祭り	上 奥 富 508 梅宮神社	梅 宮 神 社 甘 酒 祭 保 存 会	毎年 2 月 10 日に座揃式、2 月 11 日に大祭が行われる。関東地方には珍しい頭屋制（氏子組の輪番制）で祭が運営されている。

エ 史跡

No.	指定 年月日	名称	所在地	所有者 (管理者)	概要
5	S24. 2. 22	七曲井	北入曽 1366	常泉寺	武蔵野の歌枕として名高い「ほりかねの井」の 1 つといわれる。9 世紀後半から 10 世紀前半にかけて掘られたと考えられる。

オ 旧跡

No.	指定 年月日	名称	所在地	所有者 (管理者)	概要
6	S36. 9. 1	堀兼之井	堀兼 2220	堀兼神社	枕草子や千載和歌集で「ほりかねの井」とよばれる漏斗状井戸の 1 つ。直径 7.2m、深さ 1.9m。

カ 天然記念物

No.	指定 年月日	名称	所在地	所有者 (管理者)	概要
7	H10. 3. 17	広瀬神社の大ケヤキ	広瀬 2-23-1	広瀬神社	1 本が高さ約 32m、幹周り約 6.3m、もう 1 本が高さ約 27m、幹周り約 6.1m。樹齢はいずれも約 800

					年と推定され、まれにみる巨木である。
8	H15. 3. 18	笹井産出アケボノゾウ 骨格化石	稲荷山 1-23-1 博物館	狭山市	アケボノゾウは体高 1.5～1.8m、体重 2～3t と推定され、小柄で長いキバを持つ。入間川流域の笹井で骨格化石が発掘されている。

(2) 市指定文化財

ア 建造物

No.	指定 年月日	名称	所在地	所有者 (管理者)	概要
9	S48. 3. 1	天岑寺惣門	沢 5-34	天岑寺	総檜材で、屋根は瓦葺切妻、門全体は沖縄風の様式が感じられる。表間口 3.64m、奥行き 3m の四脚門である。
10	S48. 3. 1	広福寺山門	下奥富 844	広福寺	白壁が美しい竜宮造りの建築様式をとり、入母屋造りの瓦葺屋根の下は鐘楼になっている。
11	S48. 3. 1	八幡神社本殿	入間川 3-6-14	八幡神社	唐破風向拝付、千鳥破風付入母屋造りという建築様式で、周囲には見事な彫刻が施されている。
12	S61. 11. 1	隨身門及び二神像	堀兼 2220	堀兼神社	市内唯一の隨身門で、桁行 6.85m、梁行 4.12m、単層入母屋造りの八脚門である。朱塗り門の両側には神像が安置されている。

イ 絵画

No.	指定 年月日	名称	所在地	所有者 (管理者)	概要
13	S50. 3. 1	白鬚神社韋駄天の額	柏原 1153	柏原白鬚神社	絵馬様式で、幅 179cm、左右の高さ 113cm、中央の高さ 131cm。宝棒を振り上げ、仏舎利を奪った魔王を追いかけている姿が描かれている。
14	S51. 4. 1	仙人の図	柏原	個人蔵	鉄拐（てっかい）と蝦蟇（がま）が一幅ずつ描かれ、2つで一对をなしている。柴田是真（1807～1891）作。
15	S50. 3. 1	ねずみの図	柏原 1059 (博物館に 寄託)	西浄寺	木の額に描かれた彩色画で、たくさんのねずみが張子の小槌を作っている姿が描かれている。河鍋暁斎（1831～1889）作。
16	S52. 9. 1	桃園三傑図	上奥富 508	梅宮神社	劉備・関羽・張飛の3人が、桃の木の下に会し、兄弟の盟を結んでいるところが描かれている。縦 125cm、横 180cm、堤等琳作。
17	S61. 11. 1	絹本着色釈迦涅槃図	入間川 2-3-11	徳林寺	釈迦が亡くなったときに、弟子や諸王らが嘆き悲しんでいる姿が描かれている。縦 177.5cm、横 104cm。
18	S61. 11. 1	絹本着色釈迦八相図	入間川 2-3-11	徳林寺	釈迦の生涯における主要な事跡を、絹本着色釈迦涅槃図と合わせて八つとなるように描いたもの。縦 188.5cm、横 105cm。
19	S61. 11. 1	紙本着色両界曼荼羅	上奥富 354	瑞光寺	金剛界曼荼羅と胎藏界曼荼羅からなる二幅の絵画で、和紙に彩色で描かれている。いずれも、縦 90.5cm、横 81cm。

20	S61. 11. 1	紙本地蔵十王図付他 二幅	根岸 2-5-1	明光寺	十王、地蔵菩薩、脱衣婆、修羅の図を合わせて 十三幅からなる仏画。いずれも、縦 93cm、横 39cm。
----	------------	-----------------	-------------	-----	--

ウ 彫刻

No.	指定 年月日	名称	所在地	所有者 (管理者)	概要
21	S51. 4. 1	慈眼寺阿弥陀如来像	入間川 1-9-37	慈眼寺	ケヤキの一木造。均衡のとれた姿をし、豊かな顔立ちをしている。像高 73cm。
22	S61. 11. 1	木造聖観世音菩薩坐像	北入曽 1366	常泉寺	観音堂の本尊。左手はつばみの蓮華を持ち、右手は掌を開いて施無畏印を結んでいる。寄木造、像高 54cm。
23	S61. 11. 1	木造地藏菩薩立像	南入曽 460	金剛院	左手に宝珠、右手に錫杖を持ち、顔立ちは豊かで穏やかである。寄木造、像高 79cm。
24	S61. 11. 1	銅造聖観世音菩薩立像	柏原 1027	円光寺	通肩の法衣を着て、頭髮は宝髻（ほうけい）に結い、左手に蓮華のつばみを持ち、右手は施無畏印を結んでいる。像高 41. 5cm、全体高 48cm。
25	S61. 11. 1	木造不動明王及び二童子立像	柏原 2492	永代寺	両眼を大きく開き、右手に剣、左手に索を持った不動明王が、二童子を従えた一組の像である。不動明王の像高 72. 2cm、二童子の像高 41. 7cm。
26	S61. 11. 1	木造千手観世音菩薩坐像	広瀬 2-20-1	禅龍寺	11 面 42 手を持ち、光背は舟形の透かし彫りで、雲の中に 11 面の円鏡が散りばめられている。像高 64. 6cm。
27	S61. 11. 1	木造宝冠釈迦如来坐像	笹井 2-17-8	宗源寺	口元から少し白い歯をのぞかせていることから、歯仏とか微笑釈迦牟尼仏ともいわれている。像高 38cm。
28	H29. 2. 1	木造薬師三尊像並びに十二神将像	東三ツ木 8-1	天岑寺	薬師如来坐像は応永 6 年（1399）常仁の作で寄木造、十二神将像は一木造で、作風から、鎌倉時代後半から室町時代にかけて鎌倉を中心に流行した様式のものと考えられる。日光・月光菩薩像も一木造だが、他の像と違い、江戸時代前期のものと考えられる。

エ 工芸品

No.	指定 年月日	名称	所在地	所有者 (管理者)	概要
29	S51. 4. 1	梅宮神社鰐口	上奥富 508	梅宮神社	鰐口は、下方に大きな割れ目があり、布縄で参拝者がたたき鳴らす丸型の鳴器のこと。現在は片側のみ残っている。青銅製、直径 14cm。
30	S61. 11. 1	御正体（懸仏）	柏原 1153	柏原白鬚神社	全部で 5 面ある。大小の違いはあるものの、青銅の鋳物で円鏡型をなし、十一面観世音菩薩像が鋳出されている。
31	S61. 11. 1	大水作鎗	柏原	個人蔵	柏原の鎗鍛冶師、増田大水の作で、「武州柏原住大水作」という銘文が刻まれている。全長 67. 8cm、穂先の長さ 23. 5cm。

32	S61. 11. 1	神輿	広瀬 2-23-1	広瀬神社	宝形造で、屋根の頂上には鳳凰が立つ、豪華絢爛な神輿。下框の長さ 122cm、屋根上鳳凰までの高さ 228cm。
33	H29. 2. 1	堀兼神社(富士浅間社) 本殿厨子附 棟札一枚	堀兼 2220	堀兼神社	本殿厨子は、黒漆塗りで、前面の扉や梁に、当時流行した意匠や図柄が彫り込まれ、江戸時代前期から中期ごろの武蔵国農村地域の宗教建築の特徴を残している。また、本殿建立の経過が棟札に記載され、神社の歴史が明らかになった。

オ 書跡

No.	指定 年月日	名称	所在地	所有者 (管理者)	概要
34	S52. 9. 1	梅宮神社神号	上奥富 508	梅宮神社	「梅宮神社」と彫られた部分に白色塗装が施された木製額。筆者は、儒学者・亀田鵬斎。縦 43.7cm、横 115.6cm。

カ 古文書

No.	指定 年月日	名称	所在地	所有者 (管理者)	概要
35	S51. 4. 1	広瀬村境界絵図面及び 分見野帳	広瀬	個人蔵	江戸期、入間川が氾濫するたび兩岸の村との境界が不明瞭となり、その境界をはっきりさせるために、この図が作られた。

キ 無形文化財

No.	指定 年月日	名称	所在地	所有者 (管理者)	概要
36	S52. 9. 1	笹井豊年足踊り	笹井 1962 笹井白鬚神社	笹井豊年 足踊り保 存会	笹井囃子の演目の1つ。一人の演者が仰向きに寝て両足を立て、足の甲に面(ひょっとこ・おかめ)をつけ、衣装を着せ、囃子に合わせて演じるものである。

ク 無形民俗文化財

No.	指定 年月日	名称	所在地	所有者 (管理者)	概要
37	S46. 4. 1	八幡神社鹿子舞	入間川 3-6-14 八幡神社	入間川鹿 子舞保 存会	神仏分離政策のとき「獅子でなく鹿子である」といって禁をまぬがれたといわれ、「各盞の儀」と呼ばれる儀式が行われるのも特徴である。
38	S52. 9. 1	広瀬囃子	広瀬 2-23-1 広瀬神社	広瀬囃子 連	江戸末期、笛の村木佐平、天狐の飯島喜十郎を中心におこり、県内では珍しい神田古囃子を今に伝えている。
39	S52. 9. 1	入曽囃子	北入曽 274-1 野々宮神社	入曽囃子 保存会	地元の里神楽を土台に、江戸徳丸より芸人を招き、田口保明など土地の有志に伝授され始まったといわれている。

40	H9. 6. 2	広瀬浅間神社の 火まつり	上広瀬 983-2 富士浅間神 社	水 富 ㊦ 講 中	養蚕の豊作、安産、富士山の鎮火を祈願するため に行われる。祭の中心となる「お焚き上げ」は、 桑の枝を円柱状に束ねた大・小のたいまつを燃や すもので、近隣には見られない大変貴重なもので ある。
41	H9. 6. 2	お諏訪さまの なすとっかえ	入間川 4-2-41 諏訪神社	社 務 所 管 理委員会	自作のなすを奉納し、神前に供えてある別のなす をもらって帰り食べると、暑気あたりなど疫病一 切に霊験あらたかとされている。
42	H15. 11. 4	西方囃子	奥富地区	西 方 囃 子 保存会	江戸時代に入曾囃子より伝わり、江戸神田囃子の 流れをくむ。大正年間、一時途絶えた入曾囃子に 逆に伝授したといわれている。
43	H15. 11. 4	柏原祇園囃子	柏原地区	柏 原 郷 土 芸能会	入間市高倉から伝えられた市内唯一の祇園囃子。 柏原八坂神社の「天王さま」の夏祭り等で上演さ れている。
44	H17. 12. 1	上赤坂獅子舞	上赤坂地区	上赤坂獅子 舞保存会	一人立ち三頭のササラ獅子舞。古い太鼓の内側 には「安永 2 年 (1773) 9 月修理」と記されていた。

ケ 有形民俗文化財

No.	指定 年月日	名称	所在地	所有者 (管理者)	概要
45	S48. 3. 1	天岑寺月待供養の碑	沢 5-34	天岑寺	幅 40cm、高さ 131cm という大型の板碑で、阿弥 陀三尊来迎図が描かれている。市内に約 300 基あ る板碑の中でも代表的なものである。
46	S61. 11. 1	絵馬「子返しの図」	柏原 1153	柏 原 白 鬚 神社	「間引き」(口べらしのために親が生児を殺すこ と)をいましめるために奉納されたもの。木製額 型で、縦 44. 3cm、横 81. 7cm。「陰陽和合図」と 一対と考えられる。
47	H25. 2. 1	絵馬「陰陽和合図」	柏原 1153	柏 原 白 鬚 神社	富士信仰に基づく産育や孝行の思想を絵解きす る内容の絵馬。木製額型で、縦 44. 3cm、横 81. 7cm。 「子返しの図」と一対と考えられる。

コ 史跡

No.	指定 年月日	名称	所在地	所有者 (管理者)	概要
48	S48. 3. 1	清水濱臣の墓	狭山 531	天岑寺	濱臣は江戸中期の高名な国学者。父・道円が、川 越在田中村(現・狭山市狭山)の出身という関係 で安穏寺(廃寺)跡に墓がある。
49	S52. 9. 1	清水八幡	入間川 3-35-9	八幡神社	入間河原で源頼朝の追手に討ち果たされた、清水 冠者義高(源義仲の嫡子)をまつるために造られ たと伝えられている。
50	S50. 3. 1	生越道々標	下奥富 496-3	狭山市	昔は武蔵野の一本松道標と呼ばれた。石造角柱型 の 4 面には東西南北と刻まれ、それぞれの行き先 地が書かれている。

51	S48. 3. 1	城山砦跡	柏原 2346-2 他	小谷野家・ 早川家・狭 山市	市内唯一の中世城郭で、別名「上杉砦」ともいわれる。「川越夜戦」で上杉憲政などが陣を敷いたと伝えられている。
52	S51. 4. 1	今宿遺跡	広瀬台 1-22	狭山市	縄文早期から奈良・平安時代（弥生を除く）の住居跡や古墳が数多く見つかり、その内の住居跡3軒が保存（1軒は復元）されている。
53	S52. 9. 1	影隠地蔵	柏原 204-1	狭山市	源頼朝の追手に追われた清水冠者義高が、この地蔵尊の影に隠れて難を逃れた、との言い伝えがある。
54	S55. 6. 2	清水宗徳之墓	上広瀬 976 付近	清水家	清水宗徳は、機械製糸工場の開設、入間馬車鉄道の敷設などを行い、県議会議員・衆議院議員としても地域発展のために貢献した人である。
55	H18. 12. 1	旗本小笠原家墓所	沢 1120-1	天岑寺	天岑寺を開基した小笠原氏 12 代にわたる家族の墓所。宝篋印塔・笠付角柱型墓石など 43 基の墓塔がある。
56	H25. 2. 1	下水野の地蔵尊	南入曽 63-1 先	狭山市	水野の新田開発にかかわり亡くなった人を供養するとともに、その子孫の現世と来世の安楽を願って造られたと考えられている。

サ 天然記念物

No.	指定 年月日	名称	所在地	所有者 (管理者)	概要
57	S48. 3. 1	羽黒神社菩提樹	加佐志 174	羽黒神社	シナノキ科落葉高木で、6・7 月頃淡黄色の花が咲き、葉の裏に直径 8mm ほどの実を結ぶ。高さ約 10m、幹周り約 1.9m、樹齢約 550 年。

シ 考古資料

No.	指定 年月日	名称	所在地	所有者 (管理者)	概要
58	R1. 7. 1	注口付き壺形土器	稲荷山 1-23-1 博物館	狭山市	加曾利 E II 式期の注口土器事例としては、県内では類例がない。また、土瓶形、急須形に定形化する縄文時代後・晩期（約 4, 000 ～ 2, 500 年前）以前の資料で、器形が後期土瓶形注口土器の系譜上にあることを示唆しており、注口土器の変遷を考えるうえでも非常に重要な資料といえる。

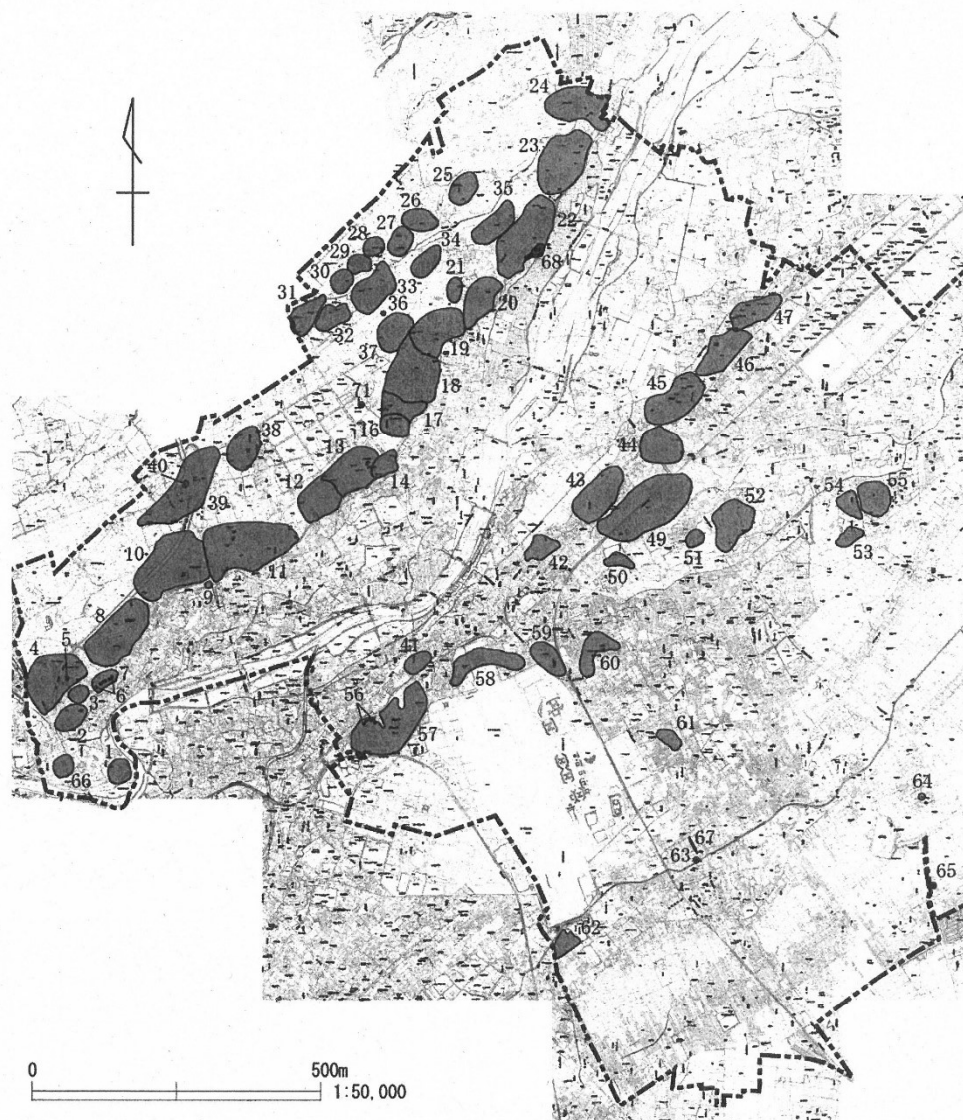
（３）国登録有形文化財

No.	登録 年月日	名称	所在地	所有者 (管理者)	概要
1	H30. 11. 2	東京ゴルフ倶楽部クラブハウス	柏原 1957-5	東京ゴルフ倶楽部	建築家アントニン・レーモンドによる設計で、レーモンドの作風が顕著に現れた円熟期の秀作と評価されている。

2 狭山市内の遺跡一覧・遺跡分布図

【狭山市内遺跡一覧（括弧内は県遺跡番号）】

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1 東八木窯址群（22049）奈良、平安 | 37 上双木遺跡（22077）縄文、奈良、平安 |
| 2 八木遺跡（22068）縄文、奈良、平安 | 38 上広瀬西久保遺跡（22073）奈良、平安 |
| 3 八木北遺跡（22021）奈良、平安 | 39 西久保遺跡（22069）旧石器、縄文、奈良、平安 |
| 4 八木上遺跡（22022）縄文、奈良、平安 | 40 東久保遺跡（22070）旧石器 |
| 5 沢口上古墳（22020）古墳 | 41 上諏訪遺跡（22086）縄文、奈良、平安 |
| 6 笹井古墳群（22019）古墳 | 42 滝祇園遺跡（22066）縄文、古墳、奈良、平安 |
| 7 沢口遺跡（22080）縄文、古墳、奈良、平安 | 43 峰遺跡（22024）縄文、奈良、平安 |
| 8 宮地遺跡（22018）縄文、奈良、平安 | 44 戸張遺跡（22026）縄文、奈良、平安 |
| 9 金井遺跡（22071）中世 | 45 揚樋木遺跡（22027）縄文、奈良、平安 |
| 10 金井上遺跡（22023）縄文、奈良、平安 | 46 坂上遺跡（22029）縄文、奈良、平安 |
| 11 上広瀬上ノ原遺跡（22007）奈良、平安 | 47 稲荷上遺跡（22032）縄文、奈良、平安 |
| 12 霞ヶ丘遺跡（22004）集落跡 | 48 （変更により欠番） |
| 13 今宿遺跡（22002）縄文、奈良、平安 | 49 中原遺跡（22038）縄文、奈良、平安 |
| 14 上広瀬古墳群（22001）古墳 | 50 沢台遺跡（22079）縄文、奈良、平安 |
| 15 （変更により欠番） | 51 沢久保遺跡（22041）縄文 |
| 16 森ノ上遺跡（22008）縄文、奈良、平安 | 52 下向沢遺跡（22042）縄文、奈良、平安 |
| 17 富士塚遺跡（22009）縄文、奈良、平安 | 53 吉原遺跡（22067）縄文 |
| 18 鳥ノ上遺跡（22010）奈良、平安 | 54 下向遺跡（22085）縄文 |
| 19 小山ノ上遺跡（22011） | 55 台遺跡（22084）縄文 |
| 縄文、古墳、奈良、平安、中世 | 56 稲荷山公園古墳群（22052）古墳 |
| 20 御所の内遺跡（22012）奈良、平安 | 57 稲荷山公園遺跡（22051）縄文 |
| 21 英遺跡（22074）中世 | 58 石無坂遺跡（22083）縄文、奈良、平安 |
| 22 城ノ越遺跡（22015）縄文、奈良、平安 | 59 富士見西遺跡（22082）縄文、奈良、平安 |
| 23 宮ノ越遺跡（22016）縄文、奈良、平安 | 60 富士見北遺跡（22072）縄文、奈良、平安 |
| 24 字尻遺跡（22075）縄文、奈良、平安 | 61 富士見南遺跡（22081）縄文 |
| 25 丸山遺跡（22037）縄文、奈良、平安 | 62 町屋道遺跡（22088）縄文、奈良、平安 |
| 26 金井林遺跡（22035）縄文 | 63 七曲井（22046）中世 |
| 27 鶴田遺跡（22044）縄文 | 64 堀兼の井（22047）中世 |
| 28 上の原東遺跡（22065）奈良・平安 | 65 八軒家の井（22076）中世 |
| 29 上の原西遺跡（22063）縄文 | 66 八木前遺跡（22087）縄文 |
| 30 半貫山遺跡（22061）中世 | 67 堀難井遺跡（22089）中世 |
| 31 稲荷山遺跡（22058）縄文 | 68 城山砦跡（22014）中世 |
| 32 前山遺跡（22059）縄文 | 69 （変更により欠番） |
| 33 高根遺跡（22062）縄文 | 70 （変更により欠番） |
| 34 町久保遺跡（22034）縄文、奈良、平安 | 71 富士塚（22045）近世 |
| 35 宮原遺跡（22017）縄文 | |
| 36 下双木遺跡（22078）旧石器、縄文 | |



IV 資料紹介

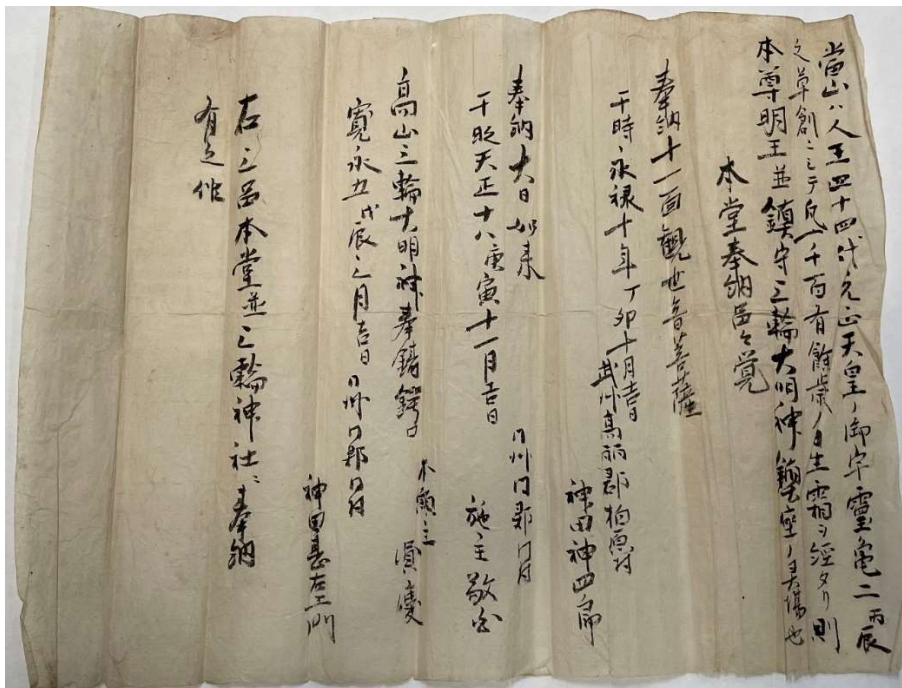
博物館収蔵資料 930597 本堂奉納品々覚

狭山市文化財保護審議委員 吉 田 弘

1 はじめに

本資料は、狭山市立博物館に収蔵された狭山市柏原地区の旧家に伝わった古文書群の内の一資料で、前書に続いた表題部分に「本堂奉納品々覚」とあることから、これを仮に資料名とするが、本資料で記録された奉納品が寺社の名称が不明ながら柏原地区で活動していた柏原鋳物師の作品であることを記した控である。柏原鋳物師の作例については、実物資料では知られているが、文献資料のみで記録されたものではなく、そういった意味では初出の資料であるといえる。

2. 釈文



当山ハ人王四十四代元正天皇ノ御宇靈龜二丙辰
之草創ニシハテ凡一千百有餘歳ノ星霜ヲ経タリ則
本尊明王並鎮守三輪大明神鎮座ノ靈場也

本堂奉納品々覚

奉納十一面觀世音菩薩

于時永禄十年乙丁卯十月吉日

武州高麗郡柏原村
神田神四郎
奉納大日如来 同州同郡同村
于時天正十八庚寅十一月吉日
施主敬白
高山三輪大明神奉鑄鰐口 本願主
圓慶
寛永五戊辰三月吉日 同州同郡同村
神田甚右衛門
右三品本堂並三輪神社ニ奉納
有之候

3. 大意

当山は、四十四代元正天皇ノ御代である靈龜二丙辰之草創で、およそ千百有餘年の年月を経た本尊明王並鎮守三輪大明神鎮座の靈場である。

本堂に奉納された品々の覚

奉納十一面觀世音菩薩

于時永禄十年乙丁卯十月吉日

武州高麗郡柏原村
神田神四郎
奉納大日如来 同州同郡同村
于時天正十八庚寅十一月吉日 施主敬白
高山三輪大明神奉鑄鰐口 本願主 圓慶
寛永五戊辰三月吉日 同州同郡同村
神田甚右衛門
右、三品は本堂並三輪神社に奉納してある。

4. 資料所見

本資料は、半紙を縦折に書状形式となし、縦 245mm 横 340mm を図る。表題として、どこの寺社に係る文書か明記はないものの、その手掛かりとなるのは、前書部分にある「明王」「三輪大明神」という記述と、鰐口の銘文にある「高山三輪大明神」という記述である。ここで作例を奉納された寺社は、別当寺として「明王」を安置する寺院を指し、鰐口の「高山」の地名、並びに「三輪大明神」の社名と、本資料に記載されている内容から、この文書が飯能市高山にある常楽院に係るものであると考えられる。

常楽院は、真言宗智山派、通称高山不動として信仰を集め、本尊は不動明王である。

その沿革については、白雉五(654)年長覚坊上人、宝勝坊上人、岩田三兄弟によって開山したと伝えられ、霊亀二(716)年行基菩薩により、一根五枝の大木で五大明王像を作して奉納したが、後に天文年間火災に遭い、四尊を焼失し、天正二十(1592)年再建。現在はこのうち軍荼利明王が安置されている。

三輪神社については、高山村の総鎮守であり、祭神は大物主神、大己貴神、少彦名神。その沿革については、創建は不詳であるが、斉明天皇二(656)年大和国大三輪神社の分霊を勧請し、国造社、大和山と称したといわれる。霊亀二(716)年社殿を再興したが、天文年間災いにかかり、天正二十(1592)年再建。享保(1716～1735)年中から常楽院神務兼帯、文政十三(1830)年12月14日焼失。天保三(1831)年再建されたといわれる。

本資料前書でも、「当山ハ人王四十四代元正天皇ノ御宇霊亀二丙辰之草創ニシハテ凡一千百有餘歳ノ星霜ヲ経タリ則本尊明王並鎮守三輪大明神鎮座ノ霊場也」として、常楽院の寺伝を踏襲した書き出しとなっている。

5. 柏原鋳物師

柏原鋳物師とは、戦国期に柏原地区で業をなしていた鋳物師集団で、特に作例に制作者が神田姓を持つものが多いことから、別に柏原神田鋳物師の名がある。制作年代は、戦国期から江戸初期にわたり、代表的な作例として、円光寺所蔵聖観世音菩薩立像、柏原白鬚神社所蔵懸仏(御正体)などがある。柏原鋳物師には、神田姓のほかに増田家、半貫家、長谷川家、斎藤家が想定されている。

6. 本資料所収の作例について

本資料の作例については、その記述にある文面並びに文体から、それぞれの作例に刻まれた銘文に基づき記されたものと考えられる。順を追ってみると、

①「奉納十一面観世音菩薩

于時永禄十年丁卯十月吉日

武州高麗郡柏原村

神田神四郎」

本資料は、銘文から懸仏と解され、十一面観世音菩薩を永禄十(1567)年丁卯十月吉日に武州高麗郡柏原村神田神四郎が奉納したと記されている。像名、年紀、国郡村名、作者の刻字から、飯能市南の八王寺(通称竹寺)に伝わる懸仏の可能性が高い。八王寺は、医王山薬寿院といい、天台宗、通称竹寺として信仰を集め、本尊は牛頭天王(本地仏薬師如来)である。その沿革については、創建は不詳であるが、飯能市南の天龍寺(通称子の権現)門徒とされることから古刹として、また神仏混淆の寺院として知られている。なお、

八王寺の作例には、

「(右) 奉祈念十一面 武州柏原

神田

神四郎

(左) 于時永禄十年丁卯十月吉日」

の銘文が刻まれている。

②「奉納大日如来 同州同郡同村

于時天正十八庚寅十一月吉日

施主敬白」

本資料は、銘文から懸仏と解され、大日如来を天正十八（1590）庚寅十一月吉日に同州同郡同村の施主が奉納したことを敬白したと記されている。内容に「神田」姓の刻字はないものの「同州同郡同村」の銘文は、記録者が「武州高麗郡柏原村」を略したと考えられることから、「覚」の記録者が柏原神田鋳物師の作例と判断したものと考えられる。現在、大日如来の作例は確認されていない。

③「高山三輪大明神奉鋳鰐口 本願主

圓慶

寛永五戊辰三月吉日 同州同郡同村

神田甚右衛門」

本資料は、高山三輪大明神に奉鋳した鰐口で、寛永五（1628）戊辰三月吉日に本願主が圓慶、同州同郡同村神田甚右衛門が制作したと記されている。これを見ると神田鋳物師の制作活動が江戸期にも継続していたことを示すものである。特に「本願主圓慶」については、高山不動あるいは三輪大明神に係る僧侶あるいは別当に係る人物として特筆すべきである。本資料も、「同州同郡同村」の銘文は、記録者が「武州高麗郡柏原村」を略したと考えられる。

7. 考察

本資料は、柏原地区の名主の家に伝来した文書であり、その内容から柏原地区以外で目にした柏原鋳物師の作例を控えて記録に残したいという記録者の意図をみることができる。また、現在確認されていない柏原鋳物師の作例を記録していることから、今後の所在確認調査の手がかりになると考えられる。

なお、柏原鋳物師の作例が青梅市域周辺に展開しているのは、この時期この地域に勢力

のあった三田氏一族の影響がみられる。後北条氏の家臣の所領をまとめた『小田原衆所領役帳』では、柏原の地は三田氏の一族である師岡山城守が知行しており、本家にあたる三田弾正少輔綱秀は、柏原の周辺に所在する入東郡奥泉（富）、三木村、高麗郡河崎、大谷沢、平沢、にれの木、馬引沢、篠井、亀井を知行している。このことから知行地の地場産業のひとつであった柏原鋳物師の作例が三田氏一族の本領であった青梅市域周辺にも普及し分布されたものと考えられる。

〔参考文献〕

『埼玉県史 資料編9 中世5』1989

『狭山市史 中世資料編』1982

『飯能市史』資料編V 社寺教会編 1982

『皇国地誌・西多摩郡村誌』下 青梅市史史料集 56 2011

『武蔵の金工』町田市立博物館 1995

『武蔵史料銘記集』稲村担元編 1966 東京堂出版

柏原鋳物師作例一覧

No.	西暦	元号年月日	分類	銘文	所在地(所有者)	備考
1	1429	永享元. 10. 23	懸仏	奉懸金山 稍 大聖天敬白 永享元年乙酉十月廿三日	狹山市柏原 増田家金山社	
2	1469	文明元. 2. 28	懸仏	文明元年二月廿八日 劍明神柏原住人	狹山市柏原 長谷川家劍明神社	木製写
3	1486	文明 18. 11. 15	懸仏	武州柏原住又三郎 文明十八年十一月十五日	狹山市柏原 長谷川家劍明神社	
4	1551	天文 20. 6. 15	懸仏	大日本国武州高麗郡笠幡尾崎宮 (梵字) 天文二十年六月十五日大旦那敬白	川越市笠幡 尾崎神社	川越市指定
5	1551	天文 20. 6. 吉	懸仏	大日本国武州高麗郡笠幡尾崎 于時天文二十年六月吉日敬白	川越市笠幡 尾崎神社	川越市指定
6	1552	天文 21. 4. 吉	懸仏	奉懸稻荷大明神 有山 天文廿一年 壬子四月吉日	個人蔵	伝笠幡神田家伝 来 川越市指定
7	1567	永禄 10. 10. 吉	懸仏	奉祈念十一面 武州柏原神田神四郎 于時永禄十年丁卯十月吉日	飯能市南 八王子(竹寺)	
8	1567	永禄 10. 10. 吉	懸仏	奉納十一面觀世音菩薩 于時永禄十年丁卯十月吉日 武州高麗郡柏原村神田神四郎	(不明・当資料に よる)	7と同じか?
9	1572	元亀 3. 12. 吉	銅造聖觀世音 菩薩立像	武州高麗郡柏原円光寺庚申供養 敬 白大工神田 元亀三年壬申十二月吉日 常蓮施主	狹山市柏原 円光寺	狹山市指定
10	1579	天正 7. 9. 吉	懸仏	武州高麗郡葛田郷花木宮 天正七年 己卯九月吉日 大工柏原神田 新堀村大福寺	坂戸市新堀 大福寺	伝金山社御神体 坂戸市指定
11	1582	天正 10. 9. 吉	懸仏	奉納武州高麗郡広瀬之郷大旦那 景 吉繁昌 天正十年壬午九月吉日諸旦那敬白	狹山市上広瀬 広瀬神社	
12	1583	天正 13. 6	銅造千手觀世 音菩薩坐像	武州杣ノ保内野上郷地久山妙光禪院 于時天正十三乙酉六月天稔大工神田	青梅市師岡 妙光院	青梅市指定
13	1590	天正 18. 11. 吉		奉納大日如来 同州同郡同村 于時天正十八庚寅十一月吉日 施主	(不明・当資料に よる)	

				敬白		
14	1590	天正 18. 12	懸仏	天正十八年庚寅十二月 大工神田宮 内 大日本武州高麗郡柏原之住吉田太郎 右衛門	狭山市柏原 白鬚神社	狭山市指定
15	1590	天正 18. 12. 21	懸仏	天正十八年庚寅十二月二十一日 武州高麗郡柏原之住 施主神田市左 衛門	狭山市柏原 白鬚神社	狭山市指定
16	1591	天正 19. 4. 吉	懸仏	奉納武蔵国高麗郡柏原之住 神田市 左衛門 施主敬白 天正十九年辛卯 四月吉日	狭山市柏原 白鬚神社	狭山市指定
17	1591	天正 19. 9. 吉	懸仏	天正十九年辛卯九月吉日 武州高麗 郡柏原之住 施主神田図書助 大工 神田宮内	狭山市柏原 白鬚神社	狭山市指定
18	1610	慶長 15. 9. 5	鉄製俵形賽銭 箱	武州杣郷金峯山神主浜名助六郎吉胤 代 当国柏原大工神田図書作者済藤 六郎兵衛也 願主助左衛門 慶長十 五年庚戌九月五日	青梅市御岳山 御岳神社	伝恵比寿大国社 伝来 国重要美 術品
19	1610	慶長 15. 9. 25	鰐口	武州於高麗郡柏原村末日方内御遷宮 砌奉寄進 神田豊後守 于時慶長拾五曆庚戌九月二十五日諸 願敬白	個人蔵	御嶽御師家伝来
20	1611	慶長 16. 3. 25	懸仏	奉納武蔵国高麗郡柏原村之住斎藤二 郎兵衛寄進也敬白 慶長十六年辛亥 三月二十五日	狭山市柏原 白鬚神社	狭山市指定
21	1616	元和 2. 6. 17	鰐口	武州柏原住神田甚衛門 于時元和 二年丙辰六月十二日	個人蔵	
22	1628	寛永 5. 3. 吉	鰐口	高山三輪大明神奉鑄鰐口 本願主 圓慶 寛永五戊辰三月吉日 同州同郡同村 神田甚右衛門	(不明・当資料に よる)	
23	1642	寛永 19. 5	鰐口	寛永十九年壬午五月 柏原村神田与 市右衛門納	飯能市上直竹 富士浅間神社	

注)

- ・備考欄の指定は、国並びに各市指定文化財
- ・No.1 は、銘文に「柏原」「(姓)」の表記はないが、柏原地区に伝来したもの。
- ・No.4, 5 は、作風による。
- ・No.6 は、笠幡神田家旧蔵。屋敷神（稻荷社）に奉納の可能性あり。また「有山」銘は、施主あるいは願主の可能性あり。
- ・No.10 は、作風による。また「広瀬之郷」は、「柏原」の隣村。

令和 6 年度
狭山市文化財年報

令和 7 年 10 月 9 日 発行

発行 狭山市教育委員会
埼玉県狭山市入間川1丁目23番5号
電話 04-2946-8594